

## シリーズ「月経のお悩みは解決できる！」

### (その2)「低用量ピル」って大丈夫？

月経痛がひどい人は**低用量ピル**という飲み薬で痛みを少なくすることができます。  
「ピルを処方してくれる婦人科 鹿児島市」などと検索してみましょう。

女性ホルモンにはエストロゲンとプロゲステロンという2種類がありますが、  
**低用量ピル**はそれら2種類の女性ホルモンを含んでいます。

避妊目的の飲み薬は**ピル**といわれていますが、  
月経痛を少なくする目的の**低用量ピル**にも避妊の効果があります。  
将来、赤ちゃんを授かりたいと思う日が来たら、**低用量ピル**を飲むのをやめれば大丈夫です。  
以前**低用量ピル**を飲んでいたからといって将来妊娠しにくくなるということはありません。

**低用量ピル**が月経痛を少なくする以外にも、  
月経血の量を少なくしたり、  
月経不順を改善させたり、逆に、月経の頻度を減らしたり、  
子宮内膜症が進行するのを防いだり、  
ニキビが改善したりする、というメリットがあります。  
またこれは保険証が使えないのですが、  
旅行や受験や試合などの日に月経が来ないようにすることもできます。  
女性アスリートによる**低用量ピル**の服用はドーピングには当てはまりません。



月経の回数や量を少なくすることが不自然だから**低用量ピル**を飲みたくないという考えもあるかもしれませんが、むしろ逆ともいえます。  
昔の女性は一生に何回も妊娠していたので、  
月経の回数や量は現代人よりずっと少なかったのです。

また、**ピル**という言葉から、性に奔放な女性が飲むものという先入観を持つかもしれませんが、  
これも間違いで、性経験がなくてももちろん**低用量ピル**を飲めます。  
働く世代であるハイティーン以上の世代でありさえすれば飲むことに問題ありません。  
ただし**低用量ピル**を飲まない方がよいと判断されることもあります。  
乳がん・子宮頸がん・子宮体がんの人、片頭痛の人、ヘビースモーカー、40歳以上、などです。